



ここに掲載したこと以外にも色々あると思いますが、ここでは筆者が個人的に感じたいくつかをピックアップしてご紹介します。

雪国秋田に移住してみたわかった

「困った事・驚いた事・嬉しかった事」

あるある

困った事
でも今は解決!

希望する職場が少なく、

安定した仕事が見つからない

秋田の片田舎では募集されている仕事の種類は限定されています。それに、給料は首都圏よりかなり低いし、時給は最低賃金に近いので、移住して収入がかなり減って不安になりました。しかし、都会暮らしの時より無駄遣いは無くなって支出も減っているの、今では個人事業主として複数の仕事を兼業でやりながら必要な生活費を得て暮しを維持しています。

今になって思えば、首都圏暮らしの時はストレス解消のために、生活必需品以外の余計な支出が多かったと思います。でも、田舎での暮らしになってからはストレス解消にお金を使う必要はなくなって、貯金はできなくても経済的に危機感を感じなくなっています。



移住先の地元住人の生活行動や慣習が

都会とは違うことが多い

都最初はかなり戸惑う

私が移住した所の集落の方々は、そこに暮らすほとんどの家の住人の事や生活状況などを把握していて、ちょっと変わったことがあると情報が早い速度で伝わっていきます。移住者が引越してきたことは、いち早く伝わるので、移住者自身が知らなくてもご近所の方々は移住してきた人のことを知っている事が多いです。他にも、人口が少ないのに結構いろいろな会の集まりがあって、役員など兼任している人が多くいて、移住者もいち早く役員をやらされる可能性が高いです。

ここで、先輩移住者からのアドバイス!

地元住人の方とは会ったら必ず挨拶をして、初対面の方なら時間があれば自己紹介などするといいでしょう。出来ることなら地元の方の役員を引き受けた方が良くと思います。最初の数年間はこのような接していると地元の方の知り合いが増え、暮らしの習慣にも慣れてきて、ご近所にとけ込むことができ、きつと住みよい暮らしができると思います。

驚いた事!

新幹線以外の電車やバスの本数が

あまりにも少なすぎてビックリ!

在来線は1日に数本、終電20時前後。バスは1時間に1本程度。電車通勤はかなり難しく、どこへ行くにも車が必要です。でも、車の渋滞が皆無で運転が楽になったので、車での移動が便利で問題はなくなりました。

家の周りに変な生き物が

いるのがビックリ!



天井には野ネズミ、家の中にも見たことのないような変な虫が入ってくるし、外には蛇やムジナやタヌキ、たまにクマが出没、カモシカも出没したりして、最初は驚いたり戸惑ったりしました。

しかし、3〜4年もしたら完全に慣れました。変な虫にも驚かず、天井のネズミもネズミ取りでの駆除のコツを取得しており、退治することができています。



嬉しかった事

四季折々の移り変わりに毎年刺激と感動を

もらった1年中飽きない喜び

観光で一時的に来るだけでは決して体験できない雪国の四季のサイクル! 秋から雪が降り始め↓深い積雪シーズンに耐え↓雪解け↓春になったときの喜び↓桜、新緑、畑作り↓活動的な夏・そして野菜の収穫から秋の紅葉へ続く、という景色の移り変わり、気候の変化、生活の変化、食べ物の変化など。その中でも四季の景色を写真に撮っているので、何枚かご紹介します。



ご近所の地元の方の話す

言葉が聞き取れない

移住当初の頃は秋田弁を聞くのは初めてだったので、話がまったく聞き取れなくなりました。首都圏で使っている言葉とまったく同じ言葉が、まったく違った意味で使われている場合もあり、誤解を生じる恐れがありますので、地元の会話を慣れていない方は、遠慮せずに、最初に秋田弁に不慣れなことを伝え、ええ方がよろしいかと思えます。そうすれば、気を使ってくれて、わかりやすく話してもらえます。そのうち、ご近所の皆さんにそのことが伝わり、移住者にはゆっくり話すことが定着していきます。



人口密度の薄さが心地よい

生活になつてくると喜び

人に急かされることが無く、心に余裕ができる生活ができています。例えば、スーパーでの買い物でレジに並ぶ時間が少ない、車の渋滞が皆無で運転にストレスが少ないし、駐車場の心配をせずに出かけられる、日が暮れると外からの騒音はなくなり、自然の音色だけ。こんなストレスのないこの住環境に慣れてしまった今は、もうあの人混みの都会暮らしには戻れません。

お米の美味しさを

初めて知った喜び

近所で採れたお米を玄米で購入して毎回食べる時に精米して、そのお米が育った水と同じ水で炊いたご飯を毎日食べています。そのおかげで、お米の美味しさを移住して初めて知り、都会ではできない贅沢な幸せな食生活を実感しています。

